



目標 (F)	実践 (D)	気付き・反省 (C)	次への期待 (A)
<p>地域団体との行事開催 する</p>	<p>・コミュニティ事業や児童館行事は、各団体と連携し合う</p>	<p>コロナ感染拡大防止の為、ほとんどの共催行事が出来なかったが、赤陽会の皆さまにお気遣いいただき、ひなあられを学童全員にいただいた。ことども達もコロナ禍の中でも嬉しい出来事であったと思つた。</p>	<p>コロナウイルスが終息し、通常の生活が出来、従来通り地域団体と一層に児童や、地域の皆さまに喜んでいただける行事の再開を願っている。</p>
<p>地域との連携</p>	<p>関係機関と密な連携を図る</p>	<p>・コロナウイルス感染拡大防止に伴い、小学校の図書室や空き教室をお借りできたが、緊急事態宣言での特別保育移行で使用難度が減った。校長先生のご厚意で第2グラウンドの使用日も増え、児童も喜んでいた。 ・気になる家庭の児童については、小学校、中学校、スクーリングセンター方ウンゼラーの先生とも連携を図ることができた。</p>	<p>・次年度も学童登録数が多い為、小学校の空き教室を利用させていただいたり、外遊びのためのグラウンド許可をいただいた。 ・引き続き安全な保育が行える様にした</p>
<p>年間利用数</p>	<p>自由来館 延べ4,272名の受け入れをする</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、一般来館の受入れをしていかなかった為、1,800名減となり目標達成が出来なかった。一般来館の受入れを再開しても、新型コロナ感染拡大防止の為、利用者も用心の為か来館が少なかつた。</p>	<p>感染症対策として行っている、手洗いやうがい、換気の励行、児童、職員の検温や体調管理、館内の消毒や換気を今後も継続し、利用される方が安心して過ごすことができ、利用される様に努めていきたい。</p>
<p>年間利用数</p>	<p>学童保育 延べ19,148名の受け入れをする</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の為、3,452名の減となったが、登録人数は、過去最多の121名であった。小学校としての児童数は減少気味だが、学童保育登録数は年々増加している為、保育形態を検討していかねければならぬ。</p>	<p>コロナ禍の中、児童も保護者もストレスを抱えていると思われ、1人で多くの利用者者に安心していただき、ストレスが軽減できるような関わりを考慮していきたい。</p>

地域との共生